

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年8月8日発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	28週	29週	30週	31週	警報レベル		注意レベル
	7月8日 ~ 7月14日	7月15日 ~ 7月21日	7月22日 ~ 7月28日	7月29日 ~ 8月4日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	1	0	0	0	30	10	10
	0.33	—	—	—			
新型コロナウイルス感染症#	36	28	22	44	-	-	-
	12.00	9.33	7.33	14.67			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	-	-	-
咽頭結膜熱	0	0	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	3	1	0	8	4	-
感染性胃腸炎	2	0	6	1	20	12	-
水痘	1	1	4	2	2	1	1
手足口病	5	9	55	54	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	1	3	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	4	12	13	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	◎	◎	-
備考	手足口病	新型コロナウイルス感染症	

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【全数報告疾患】

- 2類:結核 男性1名
- 3類:腸管出血性大腸菌感染症 女性1名
- ※全数報告疾患…すべての医師から届け出が必要な疾病

【定点把握対象疾患】

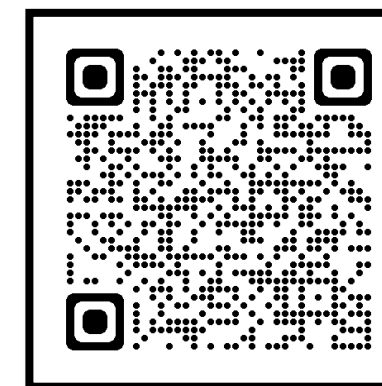
- ・新型コロナウイルス感染症は増加しました。
- ・感染性胃腸炎は減少しました。
- ・水痘の発生は継続しています。
- ・手足口病は警報レベルが継続しています。
- ・ヘルパンギーナも警報レベルが継続しています。

【集団発生情報】

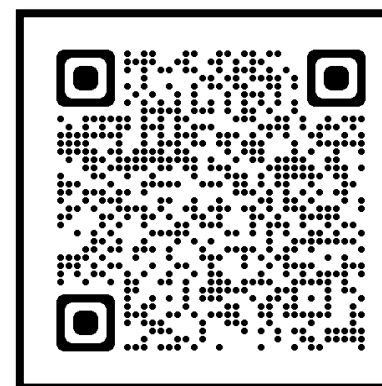
高齢者施設の新型コロナウイルス感染症については先週に引き続き対応しているほか、新たに1件発生しました。また、保育所の手足口病の対応を継続しています。感染対策に努めましょう。

【感染症コラム～急性出血性結膜炎～】

- ・主にエンテロウイルスとコクサッキーウイルスによって引き起こされる、激しい出血症状を伴う結膜炎です。
- ・症状としては、突然の強い目の痛み、異物感、羞明などで始まり、結膜の充血、特に結膜下出血を伴うことが多くなっています。全身症状としては頭痛、発熱、呼吸器症状などがみられます。
- ・主な感染経路は接触感染で、感染力は非常に強く、患者の眼や顔を触った手で触れたものを介して感染します。
- ・流水・石けん手洗いの励行、タオルなどの共用を避けることが重要です。アルコール消毒が効きにくいいため、次亜塩素酸ナトリウムの使用が望ましいです。また、熱や乾燥に弱いため、煮沸消毒も有効です。



感染症情報 ←



性感染症検査 ←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
 ☎0228-22-2117 📠0228-22-7594
 HP:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html>